

自然の中で学んだ2日間

## ふるさとワクワク体験塾「キャンプ」

9月24日・25日、ふるさとワクワク体験塾の1泊2日わくわくキャンプが愛知こどもの国で行われました。あいにくの雨も夕方には上がり、野外炊飯やキャンプファイヤー、自然工作などを楽しみました。野外炊飯では、肉とキャベツのホイル焼きや焼きそばなどを調理。出来上がった料理を笑顔で口いっぱい頬張っていました。ふるさとワクワク体験塾は違う学校・学年の子たちと交流しながら、市内に広がる豊かな自然を体感し、活動する年間を通したプログラムです。



アート作品の作者を囲んで交流

## 松岡徹作品説明会&交流会



10月1日に佐久島のひだまり広場で、松岡徹作品説明会&交流会が行われました。10月から新たに公開された大島の「佐久島のお庭」、ひだまり広場の「王様のイス」、ハイキングロード（ツバキロード）の「北のテーブル」の3つのアート作品について、作品の作者である松岡徹氏から説明がありました。その後、作者と参加者が輪になってソフトドリンクで乾杯。作品の完成を全員で祝いました。

にしがま線の存続を広く呼びかける

## 鉄研—にしがま線利用促進鉄道イベント

秋の長雨が続き、久々に太陽が姿を見せた9月25日、幡豆いきいきセンターでにしがま線利用促進鉄道イベント「鉄研」が行われました。鉄道模型の運転や「にしがま焼きそば」の販売、三谷水産高校によるエコカー一試乗などがあり、家族連れをはじめ多くの人でにぎわいました。名古屋工業大学鉄道研究会は子どもたちの笑顔に乗せてミニSLを運行。水を補給し、石炭をくべる様子も、子どもたちの注目を集めていました。



地域ブランド「西尾の抹茶」に親しむ

## 西尾の抹茶の日、にしお産業物産フェア



第25回西尾の抹茶の日記念行事と第6回にしお産業物産フェアが10月8日・9日に、文化会館で開催されました。抹茶の日行事では、抹茶石臼挽き体験や無料の抹茶サービス、工場見学ツアーなどが行われ、行列ができるほどの大盛況ぶりでした。今回初めて実施された抹茶アート体験では、自分でたてた抹茶の上に濃い抹茶で思い思いの絵などを描いた後に一服。一度に二度おいしい体験を楽しんでいました。両日ともにたくさんの方が訪れ、行楽の秋を満喫していました。





### 地元の食材を味わう食育推進事業

## 親子でのりすき体験と塩づくり体験

食育推進事業「親子でのりすき体験と塩づくり体験」が9月10日、塩田体験館で行われました。参加者は「海苔で健康推進委員会」と「西三河海苔問屋協同組合」の皆さんの指導の下、水と混ぜた液状の海苔を“海苔ます”ですくって、枠を置いた“海苔す”の上に流し込む“のりすき”を体験しました。このほか、濃い海水をコンロで煮詰める塩づくりも体験。最後には親子でおにぎりを作り、地元の食材の風味とうま味を味わいました。



### 底引網で海底を調査

## 三河湾クルーズ「海の生き物調査隊」



三河湾クルーズ「海の生き物調査隊」が9月11日に行われ、94人が参加しました。参加者は6隻の漁船に分乗して宮崎漁港から三河湾へ出発。途中で何頭かスナメリに遭遇しながら、底引き網漁を体験しました。捕れたカニ、コチ、エイなどの海の生き物や、缶、ペットボトル、タイヤなどのごみを調査。漁師からの説明も受けて、三河湾の環境を学んでいました。参加者はたくさん捕れた海の生き物を笑顔で持ち帰っていきました。

### 環境について考えるきっかけになりました

## 漂着ゴミが大変身～流木で工作をしよう～

9月17日に、いきものふれあいの里でにしお大学かんきょう学部「漂着ゴミが大変身～流木で工作をしよう～」が行われました。参加者は環境とゴミについての説明を受けた後、宮崎海水浴場や東幡豆海岸に漂着した流木と針金を使い、ハンガーを制作。自分の用途に合わせたさまざまな大きさのハンガーが出来上がりました。講師のいきものふれあいの里職員の指導を受けながら、流木や木材を組み合わせ、思い思いに小物入れなどの作品作りにも取り組みました。



### クラウンと一緒にパフォーマンスを披露

## P L E - M I X のコメディ・シアター



2016ジョイントフェスティバル愛知「P L E - M I X のコメディ・シアター」が9月17日、文化会館小ホールで開催されました。始めに、公演の前に行われたワークショップ「ワクワク♪クラウン体験講座」の参加者が舞台上がり、風船を使ったバランス芸やパントマイム、バルーンアートを披露しました。その後、個性の違う3人のクラウンがアクロバットやジャグリング、影絵などを面白おかしく、時にかっこよく演じ、会場を沸かせていました。